

# BIMの日 2019 シンポジウム 「BIMによって なくなるもの・うまれるもの」

主催 日本建築学会 情報システム技術委員会 設計・生産の情報化小委員会  
後援（予定） 空気調和・衛生工学会、建築保全センター、日本ファシリティマネジメント協会、  
buildingSMART Japan

当小委員会は設計・生産における ICT 活用の状況を調査するとともに、これを取り巻く職能・職域、組織といった周辺環境について調査研究を進めてきた。午前の部では小委員会傘下の4つのWGの活動報告を行う。午後の部では、BIM元年から10年が経過しようとしている建築設計やコンピューショナルデザイン、デジタルアプリケーション等最新事例の紹介、また、「BIMによって なくなるもの・うまれるもの～建築業界のパラダイムシフト～」と題したパネルディスカッションを行い、建築が目指すべき方向を議論する。

日時 2019年2月19日（火） 10:00～17:40  
会場 建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）  
定員 250名（申込み先着順）

## タイムテーブル

		司会：千葉貴史（建築ピボット）
10:00～10:10	主旨説明	猪里孝司（大成建設）
第1部	設計・生産の情報化小委員会 WG 報告他	
10:10～11:55	WG 報告	
	報告1. 設計・生産の情報化実態調査 WG	山極邦之（大林組）
	報告2. 建築情報学技術研究WG	種田元晴（種田建築研究所）
	報告3. IPD コラボレーション研究 WG	飯島憲一（大阪電気通信大学）
	報告4. 情報連携共通化 WG	上嶋泰史（U's Factory）
11:55～12:20	特別報告「日本の BIM ライブラリー・ロードマップ」	
	寺本英治（BIM ライブラリーコンソーシアム／建築保全センター） 他	
12:20～13:20	休憩	
第2部	BIMによって なくなるもの・うまれるもの	司会：猪里孝司（前掲）
13:20～15:20	設計・生産の情報化の最新先進事例発表	
	BIM が注目を集めて10年、どのように変化、発展してきたのか。最新の先進事例を報告していただく。	
	事例1. 千田尚一（竹中工務店）	
	事例2. 金田充弘（東京藝術大学／ARUP）	
	事例3. 綱川隆司（前田建設工業）	
	事例4. 豊田啓介（noiz）	
	質疑応答	
15:20～15:30	休憩	
15:30～17:30	パネルディスカッション「BIMによって なくなるもの・うまれるもの～建築業界のパラダイムシフト～」	
	建築業界の効率化を推進してきた BIMによって変わりつつあるヒト、モノ、コト、建築生産のプロセスについて新たな視点を導入し議論したい。	
	コーディネーター：猪里孝司（前掲）	
	パネリスト：川上浩司（京都大学・デザイン学ユニット特定教授）	
	池田靖史（慶應義塾大学）	
	山梨知彦（日建設計）	
17:30～17:40	まとめ	能勢浩三（竹中工務店）

### 参加費（資料代含む）：

日本建築学会会員 2,500円、後援団体会員 3,000円、会員外 3,500円、学生 2,000円（当日会場でお支払いください）

### 申込方法：

WEB 事前申込み 日本建築学会 催し物・公募一覧 ▶ <https://www.ajj.or.jp/event/detail.html?productId=615859>

問合せ先：日本建築学会事務局 事業グループ 伏見 Tel. 03-3456-2057

# BIM DAY 2019